



コロナ禍の元、打ち続く自粛生活を送られている地域の皆様・健康友の会の皆様をお見舞いし、
職員一同、健康友の会・地域の他事業所と力を合わせて、
これからも医療・介護・まちづくり・いのちとくらしを守る運動にまい進してまいります。

2021年7月

信和会理事長 小林 充



コロナ新型コロナウイルス感染症が、日本に上陸してから一年半以上が経過しますが、いまだに収束の兆しが見えません。オリンピックを目指して頑張ってきたアスリートの思いを考えると複雑な気持ちになりますが、消防隊員や警察官を対象としたワクチン集団接種会場が、2回目はオリンピックのために使えないというニュースを見て、ああこういうことなんだな、と考えさせられました。

こんな時に、5000億円投じてイージス艦を2隻新造、改憲発議準備の国民投票法成立、病床削減計画の閣議決定、京都では植物園の再整備計画や北陸新幹線の延伸計画と、どさくさまぎれともとれる政策が進展する一方、地域では、こんな時でも、「孤立させまい」「活動を減らすまい」と、包括支援センターや多くの事業所が、諦めない活動を続けています。

信和会・各健康友の会でも、第二波の際には、「どうされてますか？」電話を計約1600名の会員にかけ、「京都コロナ何でも相談電話」に職員が参加し協力しました。第四波下では、「あなたとあなたの大切な人を孤立させないためのアンケート」を一斉に取り組み、約1160名の率直で切実な声を集めました。

新型コロナワクチン接種について、各法人事業所とも、予約枠の増設・土曜休日の集団接種などそれぞれに力を尽くしましたが、予約受付の対象・予約時期など、御期待に沿えずお叱りの言葉を多数いただきました。力及ばず申し訳ありません。

ワクチン接種については、歯科・訪問看護ステーション・薬局は、医療従事者優先接種の対象とされながらも事実上後回しにされ、介護職員はつい最近まで一般枠でした。京都市では、当初ワクチン供給の少ない時期に個別接種のみスタートさせ、接種券を一斉に送付したことで、各医療機関に予約申し込みが殺到する事態となりました。誰でも申し込める十分な集団接種が先に明らかにされていれば、と残念でなりません。当法人自身での努力を強めつつ、諸団体と協力して円滑な運営を求めてまいります。

これからの時期、夏場の熱中症対策、さらに新型コロナワクチンの接種対象の次の段階への拡大など、時々の健康とまちづくりの課題に、職員一同まい進してまいります。よろしくお願ひします。

2021年度社員総会を終えて（報告）

6月16日（水）119名の社員（委任状58名含）にご参加頂き、定時社員総会を開催しました。理事長の開会宣言の後、1号〜6号議案の提案・討論を行いました。

1号議案の討論では、あすかい病院から地域の声に添えるよう土日含めてワクチン接種体制確立したことでクラスターを出さない1年間のコロナ対応の取組みの報告。山科健康友の会からは「孤立させないアンケート（4頁に詳細）」の不安の声に寄り添いたいと電話訪問に取組んだこと。東山診療所からは協力金のお礼と地域と一緒に取組む現地建替の進捗状況（3頁に詳細）。訪問看護ステーションひまわりからはコロナ禍で不安をかかえる高齢者・家族に寄り添い、自分たちが地域を支える決意で断らない訪問看護へのこだわりが経営の前進にもつながったこと等が報告されました。

社員総会に提案された議案は全て全会一致で承認されました。（経営結果は後述）

20年度の取組みに確信を持ち、新年度の事業と経営計画の推進のために全力を挙げて取り組みます。ご支援を宜しくお願い致します。

第一回理事会で法人役員を互選いたしましたので、ご報告致します。

理事長 小林 充（再）
副理事長 原田 正司（再）
副理事長 中川 裕美子（新）
専務理事 國井 琢磨（再）



2022 年春リニューアルオープンします。(東山診療所現地建替報告)

2020 年度に取組んだ「東山診療所建設協力金」は、2021 年 1 月に目標額 1 億 5000 万円に達しました。共同組織や職員の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございます。

建設工事は、2020 年 11 月より診療所解体工事が開始されました。同年 11 月 4 日より泉涌寺門前町の音羽屋ビルにて仮設診療所として医療活動を行っております。

新診療所は解体工事が完了し、基礎の組み立てに入りました。7 月からは、足場を組み立て、本格的に建物の建設工事に入って行く予定です。

同時に、各部署や各分野別で内装等の打合せを施工業者と行い、細かい調整を行っています。診療所ホームページに進捗状況の写真を掲載しています。ぜひご覧下さい。

(事務長 正垣)



解体中



更地になりました



基礎工事中



完成予想図

来年の今頃は新しい診療所で医療・介護活動をしています。とても楽しみです。皆様のご協力に心から感謝をしています。地域の皆さんに協力金のお礼に完成予想図を持参し訪問しました。多くの方から「来年のオープンを楽しみにしている」の声が寄せられています。地域の期待の声に応えられるよう友の会も診療所と一緒に頑張って頑張ります。

(藤本会長)

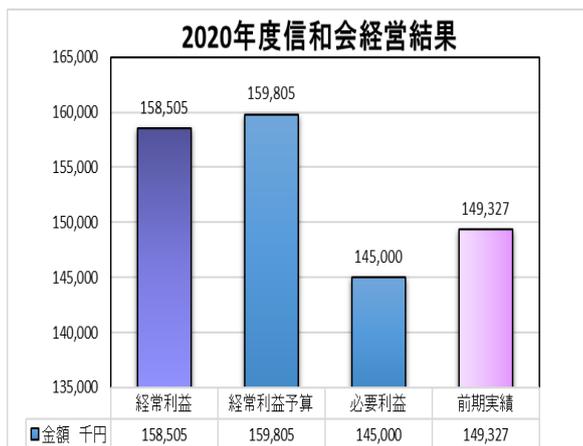
公益社団法人 信和会 2020 年度経営成績について

2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開始早々の 4 月より△14,758 千円という大幅赤字の出発。続く 5 月も△3,204 千円と連続で赤字。上半期は新型コロナの影響から予算比較で△30,018 千円と厳しい状況でしたが、職員・友の会の協力で「友の会会員さんへの電話かけ行動」等も行い、また感染予防を徹底しておこないクラスターも発生させることなく頑張った成果もあり、経常利益で 158,505 千円、当期純利益で 107,500 千円となりました。

2020 年度信和会の経営成績

	実績	予算比	前年比
事業収益	5,657,859	-170,336	-75,136
入院	2,244,030	-45,853	31,742
外来	1,400,029	-75,198	-52,849
在宅	698,069	38,308	49,991
保健予防	156,948	-10,240	-1,977
介護	1,158,598	-72,964	-99,491
事業費用	5,540,053	-126,774	-18,775
人件費	4,014,807	-127,650	-22,233
材料費	386,805	-24,851	-11,796
委託費	251,055	15,585	12,732
経費	527,384	14,820	162
減価償却費	227,662	-7,034	-5,280
リース料	32,483	-3,073	-1,622
控除対象外消費税	99,857	5,429	9,261
事業利益	117,805	-43,563	-56,360
事業外損益	40,700	42,263	65,539
経常利益	158,505	-1,300	9,179
当期利益	107,500	-52,305	-30,319
			(単位千円)

《2020 年度経営結果》



① 予算 159,805 千円に対し 1,300 千円未達

2020 年度は経常利益で 158,508 千円、予算に対して△1,300 千円の未達成となりました。

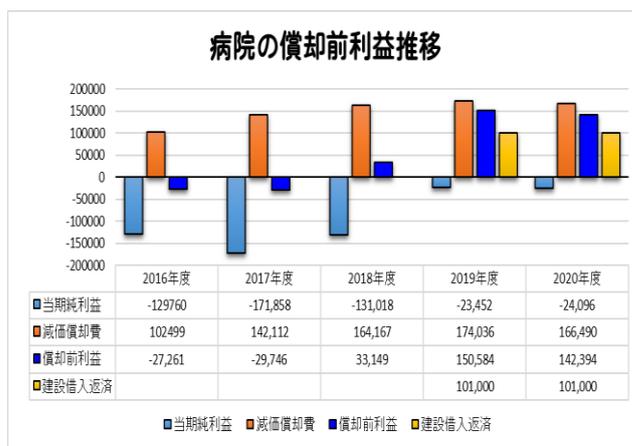
② 予算には届かなかったが、必要利益の 145,000 千円には超過

2020 年度予算作成時に提起した必要利益は、145,000 千円ですが経常利益で 158,505 千円、東山診療所での建設関連費用(解体工事 33,515 千円、引越し費用 2,304 千円、建物等除却損 15,283 千円)を除く当期純利益でも 158,602 千円となり、当期純利益でも提起した必要利益 145,000 千円を超過しました。

③ 病院では予算には届かなかったが、建設資金借入の返済資金を自前で賄える状況

2019 年度決算結果では、本格的にはじまった南館建設資金借入返済資金 101,000 千円(建設資金借入 = 90,000 千円、医療機器等借入 = 11,000 千円)にたいして、償却前利益で 150,584 千円と年間の返済額を自前で賄えるところまでできましたが、2020 年度の結果でも簡易的な資金獲得力の指標としての「償却前利益」で 142,394 千円となり、年間返済額の 101,000 千円を超過し、2020 年度でも年間返済額を自前で賄える状況を維持できています。

(財務部)



信和会を支える2020年度協力金ご協力ありがとうございました
2021年度信和会設備投資等協力金を募集しています

2020 年度東山診療所現地建替えを目的にした協力金は目標の 1 億 5 千万円を達成することができ、東山診療所現地建替えも順調にすすんでいます。皆様のご協力に心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

2021 年度も協力金を募集させていただきます。信和会の各事業所の施設改修や機器購入など通常の事業活動を継続し発展させるための設備投資と 2021 年度協力金返済 2 億 6 千万円の返済の一部に活用させていただきます。皆様のご協力を心からお願いをします。(募集期間 2022 年 3 月末まで。目標に到達次第募集は中止とさせていただきます)

●協力金 (友の会会員)

有利息 1口 5000円
(年利0.15%5年10年据え置き 単利)
最高限度額 1人 300万円
1世帯 1000万円

●寄付金

法人経営全般にわたって活用されます。確定申告で寄付金控除が受けられます。

●基金 (友の会会員)

無利息 1口 1000円(2口以上)
(5年据え置き後は自動継続)
信和会の法人経営全般にわたって活用させていただきます。資金で、長期にお借りするものです。

振込先銀行口座

△京都銀行 銀閣寺支店
普通 878550 公益社団法人信和会 理事長 小林充
△京都信用金庫 銀閣寺支店
普通 634707 公益社団法人信和会 理事長 小林充
コウエキシャダンホウジンシンワカイ リジチョウ コバヤシ ミツル



あなたとあなたの大切な人を孤立させないためのアンケートへの協力ありがとうございました。

昨年の電話訪問行動に続き、2021年2月下旬から(4月末まで)2回目の緊急事態宣言の下「孤立させないためのアンケート」を実施し、1100名を超える方々(重複無し)から回答をいただきました。皆様のご協力ありがとうございました。

アンケート結果は多くの高齢者のコロナ禍での不安や厳しい生活の実態が浮き彫りになりました。結果を分析し今後の活動にむすびつけたいと思います。

左京・東山・山科に限定した友の会対象者7741名に対する回収率は、15%(1160名)となっております。7割弱の767名が70歳以上の高齢者であり、そのうち一人暮らしと回答した人が272名、全回答者のうち、4人に1人が高齢者の一人暮らしです。

所属	人数	割合
左京	582	50.2%
左京2	156	13.4%
左京計	738	63.6%
東山	150	12.9%
山科	219	18.9%
洛北	53	4.6%
合計	1160	

70以上	767	67.4%
------	-----	-------

Qコロナ禍の生活で体調の変化はありますかの問いに対し、

「足腰が弱くなった」392名(42%) 「体重増加」190名(21%) 「ストレス増加」191名(21%) 「不眠」97名(10%) 「食欲低下」32名(3%) など体調変化を訴えた人が多くおられました。

Qくらしの中での困りごとはありますかの問いに対し、

「収入が減って生活が厳しい」162名(13%) 「食費を削っている」183名(14%) 「失業」34名(3%) 「支払が滞っている」53名(4%) でした。

Qコロナ禍で利用できる制度を活用したことがありますかの問いに対し、

あると回答した人は79名(8%)にとどまり、生活や営業支援に関する各種制度を知り活用することへの働きかけの重要性が浮き彫りになりました。

はありますかの問いに対し、

「病院に感染が不安でいけない」と答えた人は138名(12%) おられました。

この結果を受けて山科健康友の会役員会は不安を抱えておられる会員さんへ電話訪問を実施しました。

今後の課題

- ①生活の現場で患者・利用者・会員さんの実情をよく知り寄り添う活動をすすめる。
- ②友の会や事業所は、地域で孤立を生まないように、今後小学校区・中学校区単位の活動を重視し、顔が見える関係づくりをすすめる。
- ③定期的な相談会や無料低額診療事業を知らせ、ソーシャルワーク機能の強化とアウトリーチを強め、食材支援などに取り組む。
- ④中断患者対策や気になる患者対応など引き続き取り組みをすすめる。
- ⑤健康づくりや暮らしに役立つ情報の発信。シーサー体操の普及などフレイル予防に取り組む。

*「コロナ禍で生活がますます厳しくなる中、国会では

「75歳以上の医療費窓口負担を1割から2割」にする法案が強行採決されました。実施させない世論を上げていきましょう。

